

# 学力向上チャレンジ校だより

平成 28 年 6 月 29 日  
(八次中学校区研究推進地域 第 4 号)

第 3 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめておりますので、全教科・全教職員で研究を推進していきましょう。

【第 3 回研究授業（算数）】 日時：平成 28 年 6 月 17 日（金）  
単元名：形も大きさも同じ図形を調べよう  
指導者：八次小学校 末丸千早 教諭



## ★授業で提案した指導改善のポイント

- ★学習課題…解決の見通しを持たせるとともに、児童が考えてみたい課題を設定する。
- ★協同学習…「予想・再生・要約・発見」という視点で思考過程を共有させる。



## 【研究協議会】

- 具体物である正方形を動かすなど、操作しながら考えることができた。
- 2 個→3 個→4 個というステップアップにより、児童が主体的に考えようとする姿が見られた。
- 「同じか違うか」で考えが整理しやすく、合同の意味が納得できる活動であった。
- 「順序よく考える」という視点のあいまいさや、本時のまとめの不十分さが課題であった。

## 指導助言

＜三次市教育委員会 新谷勝治 指導主事＞

### ①本授業について

- ・今日の授業では児童は主体的であり、児童が考えてみたいと思える学習課題だった。
- ・思考過程の共有はよい視点であり、国語科など他教科でも共有を図っていくとよい。

### ②今後に向けて

- ・重点項目を進める土台となる学習規律を徹底する。
- ・30%未満の児童生徒への手立てをより具体的に研究していく。

【講話】 <広島文教女子大学 人間科学部初等教育学科 今崎浩 教授>

## 「児童生徒が主体的に取り組む習得の学習活動の充実VI」

### ○問題解決授業の再考

↓ (自力解決)→考えをよりよいものに高めようとする

↓ (集団解決)→他者の考えをどう見て、どう良くしていくか  
バランスよく資質・能力を育成し、学びの自立を目指す……………

### ○図形指導の基礎・基本や学年の系統性を意識した指導

第 1 段階 「同じ」を認識する (仲間分け=弁別)

第 2 段階 仲間に名前をつける (定義)

第 3 段階 仲間の性質を明らかにする

### ○「合同」という用語の確認と共有

### ○算数的活動の充実

本時：身のまわりの合同について考えよう

⇒実社会との関わりを意識した

算数的活動・数学的活動の充実



次期学習指導要領の改訂の方向性  
【育成すべき資質・能力】  
i 何を知っているか、何ができるか  
(個別の知識・技能)  
ii 知っていること・できることをどう使うか  
(思考力・判断力・表現力等)  
iii どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか  
(学びに向かう力、人間性等)

## ★どの教科にもつながる点★

- ①児童生徒が考えたいくなる学習課題 (学習課題の工夫)
- ②小中 9 年間の系統性を意識した指導
- ③教科の用語を活用した言語活動